

## 【事業計画】

## 平成 21・22 年度の事業計画

## 総括

母校も4年制大学として順調に3年目を迎えたが、社会不安・経済不況により医療並びに学園を取り巻く環境が厳しくなることが予想される。このような時の事業遂行に当たり、会員相互の親睦と母校の後援という本会組織の精神を尊重し、更なる組織結束力の向上と母校の発展を後押ししたい。以下、常置委員会が行う事業以外について総括する。

## 1. 支部活動の支援と連携について

全国 18 支部が少なくとも年1回の定期総会を開催し、会員相互の親睦を積極的にはかって頂くことの要請をすると共に、出席要請のあった支部には会長若しくは理事ができる限り出席する努力を払いたい。

## 2. 学園創設 85 周年(2012 年)記念誌について

短期大学の閉校並びに京都医療科学大学の4年次完成の記念行事として学園創設 85 周年(2012 年)に記念誌を発刊する予定があり、学友会として全面的な支援体制で臨みたい。

## 3. 学友会事業の活性化について

## 役員後継者の育成

短大卒会員の比率も 40%を超えた。本部役員・支部幹事に若い会員の登用を進めていきたい。

## 母校行事支援と学生交流の強化

学園祭、就職懇談会だけでなくクラブ活動などの学内活動への支援により学生交流を図り学友会活動の理解を深めたい。

## 広報活動の充実

会員に関心を持ってもらえるような情報提供によりホームページアクセス数を増やしたい。ホームページの有効活用により活発な学友会事業を展開したい。

## 委員会計画

## 1. 庶務委員会

理事会等会議の開催、学友だよりの発送、ホームページの定期的なリニューアルおよび内容の充実を図り会員相互の連携を強化する。

会員情報管理、各支部の役員名簿、卒業生就職先名簿など各種文書の取扱業務を行う。また、支部総会および同窓会開催時には、要望に応じて会員宛名シールの提供を行い支部・同窓会活動を積極的に支援する。

## 2. 編集委員会

「学友だより」を例年通り年 4 回発行し、会員との情報の連携をより一層深めたい。内容に関しては例年通りとしたい。なお、各号の頁数は 10 頁前後を目途としたい。

## 3. 企画委員会

企画委員会では本年度も例年の通り、以下の二事業を実施する。

## 就職問題に関する懇談会

臨床実習実施前に母校集中講義室に於いて最終学年の学生(短大3年生)、大学4年生を対象に懇談会を開催する。

## 学園祭における「学友会何でも相談コーナー」の開設

学園祭(秋桜祭)開催日に「学友会何でも相談コーナー」を設け在学生の各種相談に応じると共に、学友会員との親睦を図る。

#### 4. 名簿委員会

平成 21 年度は名簿の発行は行わないが、会員からの変更項目等の連絡に従って名簿データの変更業務を行う。また、「個人情報保護法に関する会員名簿取扱規定」を遵守したい。

平成 22 年度は名簿発行の年にあたるため、11 月初旬を目途に「2010 年版学友会名簿」を有償にて発行したい。

#### 5. 表彰委員会

2011 年学友会総会においての、名誉会員の推戴、表彰規定にもとづく表彰者、並びに感謝状贈呈者の選考を行いたい。

以上

\* 通巻 192 号 2009 年 7 月 10 日発行(H21 - No.2)より